

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピーテラス与野本町教室		2026年 3月 31日			
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	児童発達支援の場合と放課後等デイサービスの教室内の定員数を変え安全に取り組めるよう配慮している。	時間帯やタイミングによっては、粗大活動の範囲に制限が必要になることがあるので、職員同士で密に共有し、できる限り広いスペースを確保することができるようにしていく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	急な欠員などで不足になることはあるが、配置数においては適切に配置している。	急な欠勤などにより、利用者に対して人員が少ない日もあるため、予測した人員配置を行っていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	バリアフリーとして構造上難しいことがあるが、椅子を配置するなどできる限りの配慮は行っている。	利用者が活動しやすく、より分かりやすい環境となるよう、生活空間の構造化や環境設定について引き続き検討し、必要に応じて見直しを行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	トレーニング室には基本的に物を少なくし、適宜必要な物品を持っていくことで集中力を妨げることがないように配慮している	建物の劣化が要因の急な停電や不調などがある。だが、オーナーへの連絡し迅速な対応をいただき解決をしているので継続する。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		気持ち落ち着かない子供に対し静養室として使える個室を用意している。	引き続き、継続してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎月教室会議を開催したり、サービス担当者会議を開催し個々の支援や運営について検討している。	引き続き、継続してまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者アンケートや満足度アンケートを実施したり、子どもたちだけでなく保護者にも待機時間に欲しいものをアンケートし取り入れている。	引き続き、継続してまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々、発信しやすい環境を整え常に意見や業務については共有ができるようにしている。	引き続き、継続してまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	外部評価の実施はないが、FC元の定期的な査察により、コンプライアンス部門や書類の整備、支援内容の改善に関するアドバイスを頂いている。	業務改善においては、管理者だけでなく全職員で取り組み様々な意見も取り入れながら実施していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		教室内では毎月研修を実施し、外部研修にも積極的に申し込み参加をしている	引き続き、継続してまいります。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて公開している。	引き続き、継続してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		日々利用者の共有や出来事などは職員間で共有しており、ケース会議以外の機会でも常に情報共有しながら検討している。	引き続き、継続してまいります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ケース会議にてそれぞれの職員が意見を出し合い、認識を合わせた上で本案として決定している。	引き続き、継続してまいります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		トレーニング担当者は、常に支援計画や記録を確認しながらトレーニングを組み立てて都度振り返りを行っている。	引き続き、継続してまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		計画に対する評価と共に評価に沿わない行動、言動が見られた際には別途アセスメントを行っている。	引き続き、継続してまいります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人支援以外にも子供に合わせた状態で計画の立案、実施を行っている	引き続き、継続してまいります。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員それぞれの得意分野で意見を共有することで子供が楽しみながら取り組めるプログラムを実施している	引き続き、継続してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		固定化防止、様々な視点でのアセスメントのため担当制ではない仕組みを取り入れている。	引き続き、継続してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	計画更新時には、集団での様子などもヒヤリングした上で立案をしている。	個別療育の事業所のため、主に個別に沿った計画にしているが、集団生活を踏まえた計画の立案は引き続き行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	個別のため必ずではないが、都度共有や相談。同時刻にトレーニング入る指導員との打ち合わせなどは行っている。	引き続き継続をすると共に一人ひとりが最大限広いスペースで活動ができるよう共有を密にしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6	基本的に翌日になるが、時間が出来た際には当日利用者の様子を職員間で共有している。翌日にはの朝礼にて前日の利用者の様子を共有している。	業務時間の兼ね合いもあり、毎時間打ち合わせを行っていないわけではないがその日の内容を詳細に記録に残し、閲覧できる環境設定を行い、相互確認できるようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	記録は各々が意識するとともに、担当者が漏れがないかをチェックしている。	支援時間の関係上、当日が難しいことがあるため、可能な限り当日に行うことができるよう環境作りに努める
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月以内であつても子どもの様子に合わせて更新をするなど、定期的なモニタリングや日々の様子から実施している。	引き続き、継続してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者だけでなく、複数で参加する場合もある。	引き続き、継続してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関連携なども積極的に行っている。	引き続き、継続してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		関係機関連携にて、個別支援計画の共有などをおこなっている。	引き続き、継続してまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者様や園からのようぼうがあった際に、就学を見据え情報共有をしたり進学先の教頭先生などとも情報交換の機会を設けている。	移行時ではないが、移行後や新学期などに保護者や園、学校の要望により関係機関連携などを実施しているのでより一層ニーズを把握した上で、引き続き実施していきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	センター主導の研修などに参加している	スーパーバイズなどは受けていないが、地域の支援センターなどの交流したり情報交換をしたりしているので継続していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	イベント外出時などに、地域の子どもと触れ合ったり関わる環境を作ることができている。	回数としては多くないため、長期休みなどに積極的に実施していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎度のトレーニング後保護者と話す機会を設けている。	引き続き、継続してまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		年に1回～2回実施している。今年度は3月と9月に実施している。	引き続き、継続してまいります。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		運営規定についてはいつでも確認ができるように保護者席に配置。支援プログラムはHPに公開している。利用者負担については、契約時や児童発達支援から放課後等デイサービスに移行する際に個別に説明をしている。	引き続き、継続してまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談時に保護者の意向や本人の様子について伺う機会を設けている。	引き続き、継続してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		サイン時には、内容を説明した上で同意していただきサインを依頼している。	引き続き、継続してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		毎度のトレーニング時又は別で相談支援の時間をいつでも設けることができるよう保護者に周知している。	引き続き、継続してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		日々のトレーニングの待機時に、保護者同士の交流が持てる環境や保護者会の実施。長期休みには兄弟児又は誰でも参加可能なイベントを実施している。	引き続き、継続してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		ご連絡があった際は、HUGやLINE、お電話、来所時などより迅速に対応ができるよう職員内で協力している。先方との兼ね合いで遅れてしまうことはあるが、できる限り迅速な対応ができるよう連携を取っている。	引き続き、継続してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		HPではイベントスケジュールの配信。保護者席でのイベントの様子の掲示などを行っている。また、HUGの活動記録にてお知らせ配信も行っている。	引き続き、継続してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報に関しては鍵付きのキャビネットにて管理している。	引き続き、継続してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子供との会話の中で誤解が生じていそうな場合には本人だけでなく保護者の方に経緯の説明と職員の意図をご説明することで意思の疎通を図っている	引き続き、継続してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	9月に誰でも参加が可能なイベントを実施している。その際にペアレントトレーニングなども実施している。	事業所に通っていることを隠している方もいらっしゃるため最大限の配慮をしつつ、交流が広がるような企画を設定していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		緊急時の経路や避難先を掲示。イベントにて子どもたちと共に避難訓練を実施している。指導員同時でも緊急時を想定した研修や話し合い、備品整理を実施している。	引き続き、継続してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		上記と同様。	引き続き、継続してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		トレーニング開始時に保護者から伺った情報を、担当の指導員伝えたり全体で共有している。	引き続き、継続してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	緊急連絡票に記載してある情報に基づいて安全管理をしている。また、年に1度保護者に内容を確認していただいている。	アレルギー対応について、保護者との連携や職員間での情報共有を継続し、安全管理の徹底に努めていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年間の安全計画に沿って、研修や訓練、点検を実施している。	引き続き、継続してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		掲示での周知となっており、1対1で説明ができていないが、契約時には説明を実施している。	引き続き、継続してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎朝、前日のヒヤリハットについて全員職員で共有しアクシデントに繋がらないよう対策している。	引き続き、継続してまいります。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修を実施し、防止策に努めている。	引き続き、継続してまいります。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	ご契約時に説明すると共に個別支援計画に記載。また、子供の状況を見て虐待防止委員会にて必要性が認められた際には別紙を作成し、保護者の方に直接ご説明している	引き続き、継続してまいります。
--	----	--	---	--	-----------------